

2019年度 日本文化人類学会
第1回理事会 議事録

日時：2019年4月20日（土）13：00～17：30

会場：東京外国語大学本郷サテライト4階

＜出席理事＞清水展、赤堀雅幸、飯田卓、石田慎一郎、伊藤泰信、亀井伸孝、川田牧人、木村周平、窪田幸子、栗田博之、曾我亨、高倉浩樹、棚橋訓、中谷文美、速水洋子、松村圭一郎、箭内匡

＜出席監事＞鈴木正崇

＜委任状提出者＞綾部真雄、石井美保、風間計博、佐々木重洋、森田敦郎、森山工

〔承認事項〕

1. 第6回理事会議事録（案）を承認。
2. 新入会員（8名）につき、業務執行理事で入会を承認したことを報告し、事後承認。退会申込者（11人）を承認。

〔報告事項〕

1. 代表理事報告
 - ・「アジア人類史」総合研究の日本学術振興会マスタープランへの応募状況について報告。
2. 庶務理事報告
 - ・太田好信会員が前期より日本文化人類学会の代表として参加しているアイヌ研究倫理委員会を中心に刊行計画が進められている『アイヌ民族概説書』について、本学会に対し編集への協力要請があったため、3月5日付で理事会MLによるメール稟議を招集し、次の2点について3月14日付で承認されたことを報告。
 - ①『アイヌ民族概説書』の編集・出版を学会の事業として協力し推進する。
（具体的には、学会から編集に関わるメンバーを派遣するとともに、日本考古学協会らと共に共同編集に名を連ねる）
 - ②編集作業のために、すでに関わっている太田会員、窪田理事、佐々木史郎会員に加え、齋藤玲子会員を学会として派遣する。
 - ・第27回(2019)コスモス賞の候補者推薦依頼が届き、業務執行理事で検討した結果、学会推薦のための公募・選考等の対応を適正に行う時間的余裕がないため、前例に倣い、今年度の推薦は見送ったことを報告。
 - ・第16回日本学術振興会賞の推薦依頼があり、例年通りの手順で理事・評議員への推挙依頼を行ったこと、応募者がなかったことを報告。
 - ・昨年学会から推薦を行った第7回三島海雲学術賞の選考結果が届いたことを報告。
 - ・旧『民族学研究』所収の論文に掲載された肖像写真に関する使用許諾依頼があり、学会の利用許諾基準に従うと学会からの転載許可は難しいが、依頼者が論文著者及び肖像本人の遺族に連絡を取り使用許可を得られた場合には認めると回答したことを報告。
3. 総務理事報告
 - ・平成31年度科学研究費助成事業（研究成果公開促進費）「研究成果公开发表（B）」の

交付内定通知が届いたことを報告。澁澤民族学振興基金から内定を得ていた平成 31 年度民族学振興プロジェクト助成については辞退することを報告。

- ・今年度本学会が開催担当となっている人類学関連学会協議会 (CARA) 合同シンポジウム「社会と対話・協働する人類学: その可能性と役割」の日程 (6 月 1 日於東北大学川内キャンパス) とプログラムについて報告。
- ・2 月 9 日に GEAHSS の合同委員会が開催され、会費徴収を開始し、学協会持ち回り制度に移行したこと、人文社会系研究者の男女共同参画実態に関するアンケート調査結果の報告があったこと、日本学術会議総合ジェンダー分科会と連携すること等を報告。

4. 広報理事報告

- ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき 9 件の JASCA-INFO 配信を行ったことを報告。JASCA-NET に転送を促す内容を含んだ投稿があり、投稿者に委員長名で注意喚起したことを報告。
- ・J-STAGE より利用規約改定の案内が届いたこと、J-STAGE の動向について引き続き注視していく必要があることを報告。

5. 各種委員会報告

- ・『文化人類学』編集委員会: 欠席の綾部編集主任に代わり伊藤理事より、83 巻 4 号の刊行、84 巻 1 号の進捗状況、英文要旨の校閲手順を変更したことを報告。
- ・JRCA 編集委員会: 欠席の佐々木編集主任に代わり中谷理事より、査読者を探すことが困難な場合があること、年度内に執筆細則の変更を検討中であること、誌名変更について検討の必要があること、コピーエディティングの外注や国際情報発信強化の科研の計画に合わせて事業を進めていくことを報告。
- ・「国際情報発信強化」特別委員会: 本学会主催の国際シンポジウム (1 月 26 日於慶應義塾大学三田キャンパス) について報告。平成 28 年より継続課題として採択されている科学研究費助成事業 (研究成果公開促進費)「国際情報発信強化」の中間評価が A-であったことを報告。
- ・国際化グローバル化対応委員会: 本年 9 月に開催される台湾人類学会への参加を予定していることを報告。昨年度の IUAES、WCAA、WAO の開催報告と今後の開催予定、AAA の動向について報告。
- ・課題研究懇談会担当委員会: 欠席の森田理事に代わり木村理事より、研究会の開催状況を報告。
- ・学会歴史委員会: 人類学者・民族学者インタビュー映像記録の閲覧公開に関し、遺族と交渉を進める予定であることを報告
- ・研究大会運営検討委員会: 前回理事会での意見交換を受け、引き続き検討を進めることを報告。
- ・研究発表査読委員会: 第 53 回大会の査読結果を報告。査読プロセスの見直し、査読とプログラム編成との兼ね合い、要旨の形式等について検討が必要であることを確認。
- ・研究大会実施委員会: 第 4 回サーキュラーの公開、今後のスケジュールについて報告。
- ・地区研究懇談会: 各地区の研究会の実施状況、実施予定について報告。開催情報については、必ず事前に web フォームを通じて広報・情報化委員会に連絡するよう依頼。
- ・医療者向け人類学教育連携委員会: 7 月 13 日に東京医大で医療者とワークショップを開催すること、7 月 26~27 日の医学教育学会で学会ブースを設置することを報告。

- ・植松東アジア研究基金委員会：2019年度の研究促進事業の公募状況（4月22日締切）について報告。
- 6. 日本学術会議 文化人類学関係分科会報告
 - ・窪田理事および高倉理事より、各分科会の活動状況について報告。
- 7. その他
 - ・窪田理事より、これからのアイヌ人骨・副葬品に係る調査研究の在り方に関するラウンドテーブルより報告書が出されたことを報告。

〔審議事項〕

1. 法人化に伴う各種規程について
 - ・棚橋理事より、各種規程についての対応案をもとに、定款との関係や規程整備の方針について説明があり、規程の制定を5月31日、施行を4月1日とすることが提案され、承認された。各種規定の内容については、意見交換を行った後、継続審議とすることとした。また、情報公開規程において定める情報の公開範囲については、今後検討を進めることを確認した。
2. 事務局員の雇用について
 - ・木村理事より、これまでの労働実態を反映する形で労働基準法に合わせて調整した労働条件通知書案が示され、審議の結果、承認された。
3. 2018年度事業報告と2019年度事業計画について
 - ・木村理事より、2018年度事業報告案と2019年度事業計画案が示され、修正すべき点等の指摘があり、修正を加えた後、次回理事会での審議・承認を経て、社員総会へ諮ることとした。
4. 2018年度決算と2019年度予算について
 - ・石田理事より、2018年度決算案が示され、承認された。2018年度決算については、5月23～24日に監事による会計監査を行うことが報告された。
 - ・石田理事より、2019年度予算案が示され、修正すべき点等の指摘があり、修正を加えた後、次回理事会での審議・承認を経て、社員総会へ諮ることとした。
5. 委員会構成の変更について
 - ・木村理事より、医療者向け人類学教育連携委員会に倉田誠会員を追加することが提案され、承認された。
 - ・木村理事より、次世代育成セミナー担当委員会における委員の退任と追加が提案され、承認された。
 - ・木村理事より、学会賞選考委員会における委員の交替が提案され、承認された。
6. アイヌ研究倫理指針（案）について
 - ・亀井理事より、倫理委員会の下に設置されたアイヌ研究特別小委員会を開催し、これまでの経緯と取組内容を確認したことが報告された後、アイヌ研究に関する研究倫理委員会から提示された「アイヌ民族に関する研究についての研究倫理指針（案）」に対する意見聴取が行われ、社員総会において会員に周知することが承認された。
7. アイヌ関連シンポジウムについて
 - ・窪田理事より、ラウンドテーブル参加学協会の持ち回りでアイヌ関連のシンポジウムがこれまで2回開催されたこと、3回目となる今年度は本学会の事業としてシンポジウ

ムを開催することが提案され、予算措置を行った上で本学会が担当することが承認された。

8. 委員会の構成に関する提案

- ・川田理事より、今後の委員会の構成に関する原案が示され、理事の選出方法も含め意見交換が行われた後、継続審議とすることとした。

9. 育志賞の推薦について

- ・木村理事より、「第10回(平成31年度)日本学術振興会育志賞」候補者の学会推薦依頼があったことが報告され、審議の結果、過年度と同様、JASCA-INFO を通じて学会推薦候補者の募集を実施すること、配信文案については業務執行理事に一任することが承認された。

10. 名誉会員の推戴について

- ・木村理事より、「日本文化人類学会名誉会員に関する内規」の第2条2項による理事会からの候補者推薦が期日までになかったため、同項による推薦は行わず、前回理事会で承認された同内規第二章第2条の条件を満たす名誉会員候補資格者2名を名誉会員候補者として社員総会へ推薦することが提案され、承認された。

11. 課題研究懇談会について

- ・現在活動中の3件の課題研究懇談会について、昨年度の活動報告書、会計報告書、メンバー表を確認した後、活動の継続が承認された。また、各課題研究懇談会から申請のあった新規メンバーの追加が承認された。

12. 次世代育成 国際研究集会発表助成について

- ・窪田理事より、今年度の次世代育成国際研究集会発表助成について昨年と同じ形式で公募を行うことが提案され、承認された。また、採択者に対しJRCAへの投稿を義務とすることが承認された。

13. その他

- ・第2回理事会は2019年5月31日(金)17:00~於東北大学川内キャンパス。

以上